

追分地区

春まき小麦と秋まき小麦



7月7日に追分地区で撮影した小麦畑。手前が春まき小麦、奥が秋まき小麦です。

植えられる時期に差があるのでこのように色が違って

いるのですが、秋まき小麦が収穫間近となってくると春まき小麦もほとんど同じような色合いになり、どちらが秋まきなのか区別がつかないほどになります。

このように同じ背丈ほどになって、はつきりと色合いが違って見える時期はほん

のわずか。7月末頃からは秋まき小麦の収穫が始まっており、麦稈ロールが作られ町内のあちこちで見かけるようになります。

小麦畑へのそばを窓を開けて走ると、小麦が風で揺れて「そよそよ」という音が。視覚だけでなく、聴覚でも北海道ならではの小麦畑の雄大さを感じることができます。

【撮影・文／

地域おこし協力隊 木下】

牧草ロールの作り方

地域おこし協力隊 木下 知佳



町公式FacebookとInstagramで「牧草ロールはこのようにして作られます」と題し、工程とその様子を紹介しました。こちらは掲載できなかったラップを巻く前の牧草ロール。シート状の牧草が巻かれている様子が見ていただけると幸いです。

牧草ロールを作っているのを近くで見ると今が初めて。ラップを巻くのは麦稈ロールにはなかった工程で、少しずつ角度を変えて均等に巻いていき、あっという間に完成！貴重な瞬間に立ち会うことができました。

広報あびら 編集者コラム vol.27



ちょっと近場をドライブすると

総務課情報グループ 小林 誠

農風景と北海道らしい農作物を見つつ晴れの日に町内を回る。

早来から安平にある瑞穂ダムを目指して車を運転すると、丘の風景を楽しみつつ、田んぼでは稲が畑ではとうもろこし(デントコーン)もあるかも?が育っているのを横目にドライブすることが出来る。

収穫の時期が待ち遠しい。道を一本、中に入るだけでも広がる風景が変わるので、まだどこかでちょっと寄り道をしてみようと思っ。

